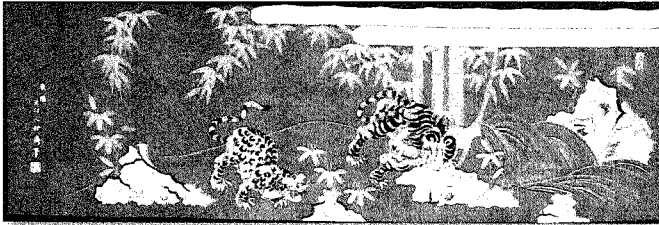


— 4月28日都留市博物館「ミュージアム都留」オープン! —

開館特別展「八朔祭と葛飾北斎展」

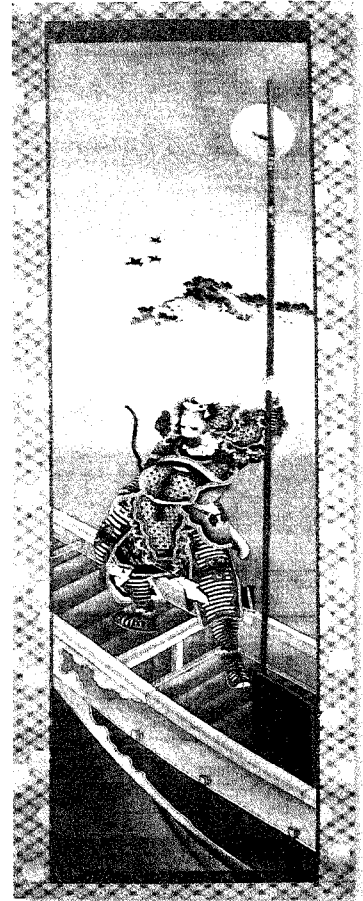
葛飾北斎 宝暦10(1760)年～嘉永2(1849)年

北斎ワールドin都留を堪能しませんか



左：八朔祭下町
屋台後幕
(葛飾北斎下絵)

右：赤壁の曹操図
(肉筆画)



4月28日(水)待望の都留市博物館「ミュージアム都留」が開館します。今回、開館を記念して、日本を代表する芸術家である葛飾北斎の名品を展示する「八朔祭と葛飾北斎展」を開催します。

本市を代表する文化財の八朔祭屋台飾幕「虎」(下町後幕)は、この葛飾北斎が下絵を描いたものであり、北斎の数ある作品群の中でも他に類を見ない貴重な作品であるといわれています。

江戸・本所割下水に生まれた北斎は、幼少より好んで絵を描き、貸本屋・板木屋職人を経て、十九歳のころ役者絵で名高い勝川春章に師事しました。その後七十年にも及ぶ創作活動を展開した北斎はその間度々画名を変え、その都度画域を広げて新しい作画に取り組んでいきました。ちなみに「虎」の下絵を描いた時の画名は「東陽画狂人北斎」といいました。これは北斎が四十代のころの作品です。

独特な画風で人々の心をひきつけた北斎は、狂歌絵本や西洋画法を採り入れた風景画も制作し、大胆な画面構成と明暗表現を用いた作品は後の浮世絵師たちに大きな影響を与えました。有名な作品としては、「北斎漫画」や「富嶽三十六景」などが知られています。

このように、その才能を見事に開花させた北斎は、絵師として常に作画への情熱を持ちその生涯を閉じました。絵画史上、北斎の果たした功績は非常に大きく、彼の残した作品は今もなお輝きを放ち、時代や国を越え多くの人々を魅了しつづけています。

展示期間：前期 平成11年4月28日(水)～5月16日(日)
後期 平成11年5月18日(火)～5月30日(日)
(前半・後半で展示替えを行います。)

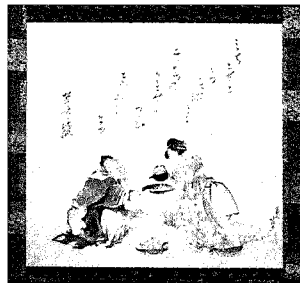
休館日：毎週月曜日(ただし5月3日は開館)

場所：都留市博物館「ミュージアム都留」
第2展示室

入館料：一般600(420)円、高校・大学生400(280)円、
小・中学生200(140)円
()内は20名以上の団体料金

開館時間：午前9：00～午後4：30(入館は4：00まで)

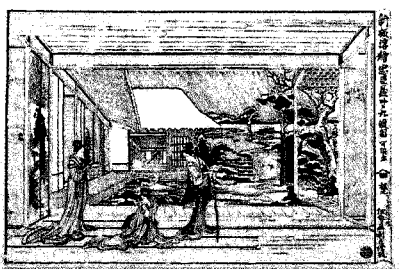
問合せ：都留市博物館「ミュージアム都留」
☎(45)8008・8608



東方朔と美人図(肉筆画)



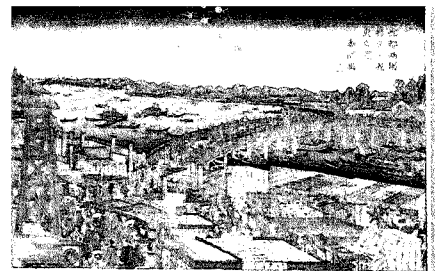
北斎漫画九編
角丸屋基助、永楽屋東四郎(版本)



新板浮絵忠臣蔵第九段目
伊勢屋利兵衛版(浮世絵版画)



富嶽三十六景凱風快晴
西村屋与八版(浮世絵版画)



江都両国橋夕涼花火之図
万吉板(浮世絵版画)